



第55回 卒業証書授与式

令和元年度金ヶ崎町立金ヶ崎中学校第55回卒業証書授与式を3月14日（土）に開催しました。

新型コロナウイルスによる感染症が全国的に、世界的に拡散する勢いが衰えることがなく、3月4日（水）より臨時休業となりました。その間、6日（金）には予定通り県立高校の入学選抜検査が行われ、本校の3年生の受検予定者は無事全員、検査を受けることができました（発表は17日・・・）。

そして、本日は**義務教育最終授業**となる**「卒業証書授与式」**が行われました。新型コロナウイルスによる感染症の拡散防止のため、来賓は町を代表する方々と教育委員会のみとさせて頂きました。また、在校生諸君の参加も控え、代表に**生徒会長小林**さんが参列し**送辞**を読み上げました。義務教育の最終授業であり、その修了を祝う門出に出席できない来賓の方々や在校生諸君は大変残念であったことと思います。それにも増して、卒業生諸君そして保護者の皆さんにも寂しい思いがあったのではと・・・残念でなりません。どうかお許しください。

校長からは次のような**式辞**を述べました。

本日、ここに金ヶ崎町立金ヶ崎中学校、第五十五回卒業証書授与式を行う（中略）卒業生一人一人に卒業証書を手渡し、慶びを分ちあいたいところでしたが、各学級の代表者に託すこととしました。（中略）さて、卒業生の諸君、卒業おめでとうございます。生徒会スローガン「共創心」のもと、青ジャージの諸君らがー丸となって、学習・部活動、そして学校行事にと直向きに取り組み、中学校の全教育課程を無事修了されたこと、誠におめでとうございます。（中略）

今ここで諸君らが本校に入学してからの、三年間を振り返り、心に残る学びにはどのようなことがありますか。（中略）その中でも全中出場を果たした陸上競技部の菊池さん、土井さん、さらには十五歳以下の日本代表選手に選出され海外遠征に参加した男子バレーボール部の石川さんらに代表されるように素晴らしい成果を上げ、校史の新たな1ページを綴ってくれたことも記憶に残ります。そして日々の学習の中で特筆すべきは、3年間学び続けた本校独自のキャリア地域学習であると思います。このキャリア地域学習は、諸君らに新たな生きる力と故郷を見つめ直す力を着実に育んでくれたものと思います。

1年生での農業体験。農業講話をはじめ、地域農家の方々の協力による野菜作り、耕作地整備そして酪農体験。本町の地場産業である農業を学び、肌で感じる機会を得ました。

2年生では、森山工業団地を中心とした誘致企業から先輩方を招いてのワークショップ、そしてものづくりの現場を訪問した職場体験学習から、金ヶ崎の現状に目を向け、その未来を学ぶことができたものと思います。

そして、3年生では出身小学校区の「まち歩き」を実施し、我が故郷の再発見を通して、地域を見直し、自らの歩むべき道を見つめる機会としてくれたものと思います。

この他、夏休み等の休業日を利用した医療福祉関連のボランティア体験活動も自らの視野を広げ、地域貢献への思いを深め、生きる力の育成に繋ぐことができたものと思います。

卒業生諸君が3年間、学び続けたキャリア地域学習は、卒業生諸君らの人生の道しるべとなり、生きる力となってくれるものと確信しています。

（中略）この新たな旅立ちにあたり、私が好きな言葉を贈りたいと思います。

「得意澹然 失意泰然」
これは中国、明時代の偉人・崔銑が残した「六然」と

いう語録のなかの2つの言葉です。（中略）

夢や希望を実現させるための努力が大きければ大きいほど、報われた時の喜びは大きいはずです。正に喜色満面の状況が想像できます。しかし、その喜びに有頂天になり、自慢をしたり、我を忘れて舞い上がる。その結果嫌味や愚かさをさらけだし、反発を招きかねません。夢や希望が実現できたとしても決して有頂天にならず、その喜びを心のうちに収め、次のステージでの更なる飛躍を目指して、いつも以上に平静な心で頑張る気持ちを保つことが**「得意澹然」**です。

一方、努力の甲斐もなく夢破れた時は意気消沈といった状況となり、周囲の人たちも、かける言葉を失います。そして周囲からは同情の思いが寄せられるでしょう。しかし、いくら同情を集めても自らが、このままでは終われない！つぎこそは！という気持ちにならなければ、歩みを進めることができません。この失敗を大切な教訓と捉え、次に備えれば良いのです。失敗してもそれにとらわれず、引きずらず、動じない気持ちが自らを高め成長させ、さらには周囲を安心させることに繋がります。この様な気持ちの持ち方が**「失意泰然」**です。

人は希望が叶ったり、目標が達成されると得意になり、そうでないと失意に沈みます。人生は正に得意と失意の連続です。得意であっても決して有頂天にならず、失意の中でも落ち込まず、常に平静な心を保ち続け、次のステージに備えることこそ大切なことです。どうか、これから生き抜く人生の折々に、この言葉**「得意澹然、失意泰然」**を思い出し、身を正しながら歩んでください。（中略）

結びに卒業生諸君に、**武者小路実篤**の一編の詩を贈り、式辞といたします。

自分是一个の人間でありたい。

誰にも利用されない

誰にも頭をさげない

一个の人間でありたい。

他人を利用したり

他人をいびつにしたりない

そのかはり自分もいびつにされない

一个の人間でありたい。

自分の最も深い泉から

最も新鮮な

生命の泉をくみとる

一个の人間でありたい。

誰もが見て

これでこそ人間だと思ふ

一个の人間でありたい。

一个の人間は

一个の人間でいいのではないか。

一个の人間

独立人同士が

愛しあひ、尊敬しあひ、力をあわせる。

それは実に美しいことだ。

だが他人を利用して得をしようとするものは、いかに醜いか。

その醜さを本当に知るものが

一个の人間。

金ヶ崎ライオンズ 無欠席表彰

例年、卒業証書授与式の前日に行われる総練習に金ヶ崎ライオンズクラブの会長さん方が来校され、義務教育の9年間無欠席を達成した生徒諸君の表彰式が行われていました。今年は、残念なことに新型コロナウイルスの感染拡大防止のため臨時休業で中止せざるを得ませんでした。

そこで13日（金）に金ヶ崎ライオンズクラブの会長さんらが来校され、無欠席の表彰状等をご持参頂きました。本日の卒業証書授与式の中で紹介させて頂きました。表彰を受けた生徒諸君は、次の通りです。

○猪苗代

○菊池

○及川

○小原

○菊池

○高橋

○榊

○高橋

○栗津

○家子

○佐藤

（敬称略）

大変おめでとうございます。これからも体調管理に努め、**無遅刻・無早退**そして**無欠席**を高校でも継続してください。